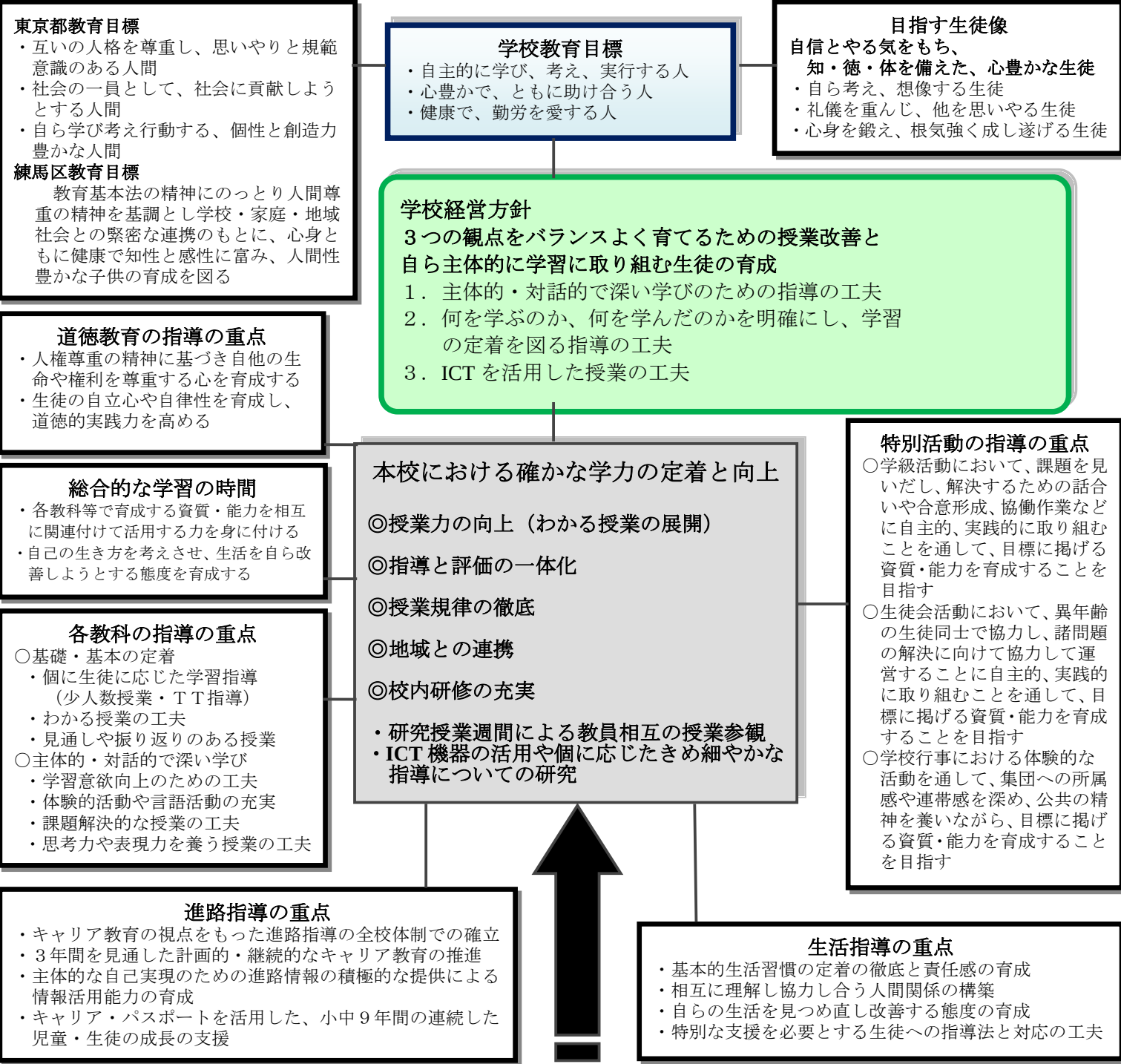




本校の授業改善に向けた視点				
指導内容、指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	小中一貫教育	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
- 個に応じた学習指導（数学、英語での少人数授業や習熟度別授業、数学学力向上支援講師の活用）の実践 - わかる授業のための工夫 - 他と協働して学ぶ場面の設定 - 学習指導要領の主旨に沿った授業改善	- 学習指導要領の着実な実施 - 授業時数の確保 - 年間指導計画、評価計画の早期立案と公開	9年間を見通した小中一貫合同研修と課題改善カリキュラムの活用 - 学習習慣を定着させる指導法の研修	- 教科部会による組織的評価改善 - 自己評価による主体的な学びの継続 - 評価方法の公開 - 授業アンケートを生かした授業改善 - 学校評議委員会における評価改善	- 年間指導計画、評価計画の保護者への公開 - 小学校との授業参観交流や指導方法の連携 - 学校公開、授業参観 - 地域講師の活用 - 家庭学習の習慣の確立
		校内研修		
		学校生活のユニバーサルデザイン化における実践研究		

授業改善策の検証方法

- 学力向上を図るための調査や技能検定試験の結果などを分析し、課題を把握する。
- 授業アンケートを実施し、各教科部会や分掌部会で組織的に授業改善策を検証する。
- 校内研修会では「ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動の実践に向けて」をテーマに、授業研究、研究協議会などを行い、支援が必要な生徒への働きかけ方などを共通理解するとともに、目標実現に向けた授業改善策を検証する。
- 小中一貫研修では「主体的に学び活動する生徒の育成」を期し、9年間を見通しを立てた効果的な指導方法を検証する。